

有志によるゴールボール体験会について

1 目的

視覚障害者のパラリンピック種目であるゴールボールのルールを理解し、体験することにより、視覚障害者スポーツの裾野を広げる。

2 期日

平成 29 年 2 月 19 日（日） 10:00～15:00

3 場所

岡山盲学校体育館

〒703-8235 岡山市中区原尾島 4 丁目 16 番 53 号

4 講師および用具

日本ゴールボール協会が講師および用具を用意する。

5 参加者

本校教職員、トレーナーを目指す者、その他希望者

6 使用場所

体育館、更衣室、会議室

7 日程

- ・ 9:00～ 体育館準備開始
- ・ 10:00～12:00 ルール説明・体験（体育館）
- ・ 12:00～13:00 昼食・休憩（会議室）
- ・ 13:00～15:00 ルール説明・体験（体育館）
- ・ 15:00～15:30 体育館片付け

8 持参品等

昼食、体育館シューズ、運動のできる服装
傷害保険は各自で対応してください。

9 参加連絡

大まかな人数を把握したいと思いますので、参加を希望される方は 2 月 13 日（月）までにご連絡ください。

- ・ 岡山盲学校 志水克典（090-7775-2937）
- ・ 松浦治療 辻美穂子（090-8995-3056）

10 その他

ゴールの受け取り（2/17 PM）、ゴールボール協会との連絡・調整：志水・近藤

ゴールボール競技の普及・啓発 パラリンピック選手の発掘



スローイング(攻撃)



視覚に障がいを受けた軍人のリハビリからスポーツへ



全員がアイシェードを装着着用

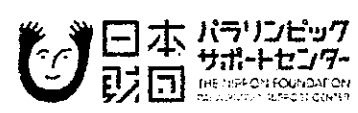


セービング(守備)



ボールから聞こえる鈴の音を頼りにプレーする

盲学校体育連盟等との連携強化事業



ゴールボール競技とは・・・

ゴールボールは、1946年に第二次世界大戦で視覚に障がいを負った兵士のリハビリテーションの一つとして考案されました。

パラリンピックでは、1976年に開催されたトロント大会で初めて行われました。

ゴールボールは、視覚障がいのある人たちを対象としたスポーツです。

競技に参加するためには、視力が10%以下か視野が20度より狭くなければなりません。

プレーヤーはコートにいる間は審判の許可がない限り、黒いアイシェードをずっと装着してなければなりません。

コートのサイズは18m×9m、ゴールのサイズはコート幅×1.3mです。

固いゴム製のボールは直径25cm、重さ1.25kgあります。

ボールの中には、プレーヤーにボールの位置を知らせる鈴が入っています。

コートのラインの下にヒモが通されており、それを触って位置を知ることができます。

プレーヤーがボールに反応するために、プレー中の会場内は音をまったく出さず、静まり返った中で試合が行われます。

相手チームのプレーヤーが、体を使ってボールをブロックする中、ボールを相手ゴールに入れることが試合の目的です。

各チームは、コート内に3名の選手と交代の選手が3名で編成されます。

各試合は前半12分、ハーフタイム3分、後半12分で行われます。

守備で最初にボールに触れた時点から、返球がセンターラインを超すまで、チームに10秒与えられます。

時間内に相手より多く得点したチーム、もしくは相手に10点差をつけたチームが勝者となります。

静まり返った会場では、選手たちの高度な技術と一瞬の判断が見所です。

Eyeshade



Bellball



スタッフを募集しています!

私たちと一緒にゴールボールに取り組んでいただける方、お知らせください。
選手の発掘・育成・強化（技術、栄養、心理、身体ケア）、普及・広報、オフィシャル、審判、ボランティア育成、体験講習、事務局補佐など初めての方、専門家、どなたも歓迎します。



【日本ゴールボール協会】